

(様式第 7 号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 29 年 6 月 23 日

作成者： 一井 知織

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
特定非営利活動法人芦屋市体育協会	
事業名	日時 (期間), 場所
体協チャレンジ 2016 (子どもの居場所づくりスポーツクラブ)	平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月(月 2～3 回) 芦屋市内各スポーツ施設
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
・この事業に参加する競技種目協会で実行委員会を組織した。 ・市内の小学校にチラシを配布し、参加者を募った。 ・実施した競技種目の指導については、芦屋市体育協会傘下の種目協会会員があたった。 ・8 種目の競技において月 2～3 回の活動を行い、子ども達がスポーツに触れ、続けていくための場を提供した。	(471) 人
	参加者数
	(54) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・社会全体で子どもを育むべく、社会体育施設を活用して子ども達が安全に活動できる居場所の提供ができた。 ・地域の大人を指導員として配置したことにより、交流活動にも繋がった。 ・子どもの体力低下が懸念される現代において、子どもたちがスポーツを始めるきっかけ作りになった。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
子どもの居場所づくり推進事業として平成 17 年度にスタートしたこの事業(当初は芦屋市教育委員会の主催事業,当協会は主管団体として協力)は、「事業終了後も地域で継続を」という文部科学省及び芦屋市子どもの居場所づくり推進協議会の意向を受け、翌 19 年度より当協会の主催(芦屋市教育委員会との共催)事業として実施してきた。地元の体育協会が、スポーツを通じた子どもの居場所づくりを 10 年継続できたことは一定の成果だと感じている。今後は、この事業を通して興味を持ったスポーツにより深く関りたいと希望する子ども達の受け皿として地域スポーツクラブとの連携を図っていきたい。	